

# 日本台湾学会第五回学術大会プログラム

## 実行委員会からのメッセージ

日時：2003年6月14日（土）

会場：関西大学100周年記念会館

および社会学部第4号館4401

(関西大学千里山キャンパス)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

Tel:06-6386-3008

交通：阪急千里線，関大前駅にて下車，徒歩約5分。

参加費：2000円（報告論文集代）

スケジュール：

1. 受付開始：09：00
2. 午前の部：09：30～11：50
3. 午後の部：13：00～15：20
4. 記念講演：15：40～17：10
5. 会員総会：17：20～17：50
6. 懇親会：18：10～20：10



大阪大会へようこそ

## 《分科会報告》

### 第1分科会

如何に台湾を理解するのか

——「他者」及び「自己」の目に映された台湾の文学と歴史

9:30~11:50 (休憩) 13:00~15:20 於第3会議室

(午前・午後2セッション企画)

企画責任者：黄英哲 (愛知大学)

座長：藤井省三 (東京大学)

報告者：廖炳惠 (清華大学)

「離散與流寓：明清来台文人的旅行詩抄解讀」

\*代読 三澤真美恵 (東京大学総合文化研究科院生)

Leo Ching (デューク大学)

The Musha Rebellion as the Unthinkable: Coloniality,  
Aboriginality and the Epistemology of Colonial Difference

(「思考不可能としての霧社事件：植民地性、原住民性とコロニアル差異の認識」)

蕭阿勤 (中央研究院)

「台湾文学的本土化典範：歴史叙事・策略的本質主義、與国家暴力」

\*代読 李承機 (東京大学総合文化研究科院生)

黄英哲

「歴史、記憶與書寫——論朱天心〈古都〉」

コメンテーター：野村鮎子 (奈良女子大学)、垂水千恵 (横浜国立大学)、若林正文 (東京大学)、  
濱田麻矢 (神戸大学)

## 第2分科会

抵抗でも協力でもなく：

日本植民地統治期に対する歴史認識

9:30~11:50 (休憩) 13:00~15:20 於第4会議室

(午前・午後2セッション企画)

企画責任者：松金公正（宇都宮大学）

座長：三尾裕子（東京外国語大学）

報告者：上水流久彦（県立広島女子大学）

「1945年という縛り——台北市の民族誌の記述を通して——」

西村一之（日本女子大学）

「台湾東部漁民社会研究——開発・船長の力・『日本』——」

松金公正

「植民地期台湾における曹洞宗の教育事業とその限界  
——宗立学校移転と普通教育化の示すもの——」

五十嵐真子（神戸学院大学）

「佛光山からみる、台湾と仏教」

コメンテーター：沼崎一郎（東北大学）、堀江俊一（中京女子大学）、丸山宏（筑波大学）、  
原英子（岩手県立大学盛岡短期大学部）

### 第3分科会

#### 法学博士・岡松参太郎と台湾総督府の立法政策

9：30～11：50 於第2会議室

（午前1セッション企画）

企画責任者：春山明哲（国立国会図書館）

座長：春山明哲

報告者：岡松暁子（国立環境研究所）

「岡松参太郎の生涯と関係文書について」

浅古弘（早稲田大学）

「岡松参太郎の学問と政策提言——後藤新平との関係を中心に——」

岡本真希子（専修大学非常勤講師）

「臨時台湾旧慣調査会の組織運営と調査方法

——岡松参太郎と旧慣調査会の関係を中心に——」

春山明哲

「『台湾統治法』と『台湾私法』について——台湾総督府の立法政策をめぐって」

コメンテーター：川島真（北海道大学）、駒込武（京都大学）

## 第4分科会

### 1940年代後半期台湾文学研究の資料と視角

13:00～15:20 於第2会議室

（午後1セッション企画）

企画責任者：松永正義（一橋大学）

座長：松永正義

報告者：松永正義

「戦後台湾の『国語』問題」

上村ゆう美（お茶の水大学大学院生）

「銀鈴会と『橋』」

横地剛（台湾文学研究家）

「『民主刊物』と台湾の文学状況」

コメンテーター：三木直大（広島大学）、鈴木将大（明治大学）

## 第5分科会

## 近代医学と伝統規範のジレンマから見る医療、身体、国家

### ——台湾における精神医学と生殖医療の事例から——

13:00～15:20 於第5会議室

(午後1セッション企画)

企画責任者：張瓊方（東京大学総合文化研究科院生）

座長：慎蒼健（東京理科大学）

報告者：張瓊方

「血縁への執着——台湾における生殖医療と家族規範」

加藤茂生（日本大学）

「台湾における近代化のエージェントとしての精神科医の治療とアイデンティティ」

コメンテーター：劉士永（中央研究院）、慎蒼健

\*座長およびコメンテーターは、蔡篤堅（国立陽明大学）先生から慎蒼健先生に交代しました。

## 第6分科会

### 1960年代台湾の経済開発と独裁（大阪大会実行委員会企画）

13:00～15:20 於第6会議室

(午後1セッション企画)

企画責任者：石田浩（関西大学）

座長：金丸裕一(立命館アジア太平洋大学)

報告者：北波道子（東京大学総合文化研究科院生）

「開発と独裁——戦後台湾経済発展軌跡の再考——」

圖左篤樹(関西大学経済学研究科院生)

「1960年代台湾紡織産業の発展——日本資本との関係を中心に——」

コメンテーター：堀和生(京都大学経済学研究科)

## 第7分科会

### 自由論題報告1 (経済分野)

9:30~11:50 於第6会議室

(午前1セッション)

座長：中嶋航一 (帝塚山大学)

報告者：朝元照雄 (九州産業大学)

「日台産業連関分析——産業構造のスカイライン分析と構造変化——」

中原裕美子 (九州大学経済学研究科院生)

「中国への投資が台湾の雇用に与える影響について」

コメンテーター：河原林直人 (龍谷大学非常勤講師)、川上桃子 (アジア経済研究所)

## 第8分科会

### 自由論題報告2 (政治・文学)

9:30~11:50 於第5会議室

(午前1セッション)

座長：笠原政治 (横浜国立大学)

報告者：吉原ゆかり (筑波大学)

「台湾に舞台を置き換えられた『オセロ』」



楊鈞池（国立高雄大学）

「国際秩序・政権交代と政治発展——90年代日本と台湾の政治改革の比較」

\*代読 楊桂香（お茶の水女子大学）

コメンテーター：中島利郎（岐阜聖徳学園大学）、渡辺剛（杏林大学）

## ◎ 記念講演会

時間：15：40～17：10

会場：社会学部4号館4401

\*記念講演は、柯志明教授（中央研究院社会学研究所研究員兼国立台湾大学社会学系兼任教授）により、「社会科学者たちよ、ともに台湾史研究をやろう！」（「社會科學家們一起來作臺灣史研究吧！」）と題して行われる予定でしたが、SARSの影響で急遽、予定を変更して若林正文教授にお願いすることになりました。柯教授による記念講演は、来年度に延期して実施する予定です。

司会：石田浩（関西大学）

講演者：若林正文教授（東京大学）

題目：「台湾政治研究20年」

## ○ 会員総会

時間：17：20～17：50

会場：社会学部4号館4401

※なお、総会に先立ち、第二回日本台湾学会賞授与式を行います。

選考委員会委員長 土田滋（帝京平成大学）

## ○ 懇親会

時間：18：10～20：10

会場：大学正門建物内の「ボンプラ（BONPLAT）」

### 【大会事務局からのご連絡】

- 各分科会の出席者の人数の関係で、会場が変わることがあるかもしれません。  
その時はご協力頂きますようお願いいたします。
- 分科会会場と記念講演および懇親会会場は異なり、移動しなければなりませんのでご注意ください。  
それぞれの会場につきましては、同封の地図をご覧ください。
- 当日、学会参加者の方々のための弁当は用意いたしません。  
記念館付設のレストラン「紫紺」、あるいは大学生協、大学近隣の飲食店等を各自ご利用ください。
- 宿泊施設につきましては、関西大学関連の施設の案内を同封いたしました。  
学会参加関係者には「利用料金の割引」をご利用いただけますのでご利用ください。  
電話予約の際には、「関西大学で開催される日本台湾学会参加者」であることを話してください。  
なお、インターネットでの申し込みは受け付けておりませんのでご注意ください。
- 参加費は2000円、懇親会費（当日）は一般5000円、学生4000円となります。

### 【大会事務局からのお願い】

- 厚生労働省の要請もあり、感染重度地域からの参加者は来日後10日間の活動自粛を経たうえでご参加くださいますようお願いいたします。

---

〒 564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学経済学部石田研究室気付

日本台湾学会第五回学術大会実行委員長

委員長 石田 浩

Tel 06-6368-1121 Fax 06-6339-7704

---